

新大阪駅周辺地域のまちづくりに関する意見交換の概要

■協議会関係者以外の対象者（9/26 時点）

○民間事業者・個人事業主（20 者）

- ・不動産サービス、金融、交通サービス、ベンチャー経営、スタートアップ支援、観光企画・アドバイザー、アート・芸術のイベント企画、病院経営（医師）、病院企画運営コンサルタント、バスターミナル運営、複合商業施設管理など

○大学（10 名）

- ・都市計画、交通計画、緑地計画、交通経済、経済、医療、学生戦略、景観など

■新大阪駅周辺に求める機能に関する主な意見

○全体

- ・新大阪は、広域的な役割をになうため、西日本や大阪の各拠点の視点からどうあるべきかという観点が大事
- ・導入機能の考え方が複雑で多様性があると、メッセージが弱くなるため、新大阪にあるべき機能を広域交通ハブという、他の拠点との大きな違いを活かして整理すべき

○ビジネス

- ・新大阪は、西日本全体をみた拠点、海外企業の日本進出の拠点として人気がある。
- ・規模が小さくても、西日本、北陸、東京などから人が集まる **MCE** があればかなり強力。
- ・リアルに会える環境、移動拠点に誰もが簡単に使える打合せスペースがあるとよい。
- ・グローバルなビジネス拠点として企業等の人たちの滞在機能を確保することも重要。
- ・スタートアップ企業のための低価格で小規模な研究・開発フィールドや地域の特性を活かした商品実証フィールドの提供が必要
- ・新大阪で、人や情報を繋ぐ人材が育つと良い

○観光・エンターテイメント

- ・外国人が日本人とコミュニケーションができ、全国の観光地に案内できる施設が必要。
- ・大阪をベース基地にして西日本に日帰り観光する行動も増えてきている。新大阪は交通ハブとしての利便性が高く、短期から長期まで滞在させる拠点性を持つことが重要。
- ・淀川の自然を活用したアクティビティや空間づくりが重要。
- ・集まる人に、目的に応じた情報をいかにわかりやすく、適切に提供できるかが重要。

○交通結節

- ・利用者の乗換等を徹底的に便利にしなければならない。
- ・**MaaS** や次世代モビリティなども踏まえ、新大阪からの移動の障壁を小さくする必要がある
- ・高速道路の利便性が高まるので、高速バスのターミナル機能があるとよい。
- ・人の移動として歩行空間の確保を考慮しておくべき。

○空間形成

- ・地元の人が新大阪を大好きに、ファンになることが重要
- ・広場空間を考えるとときに重要なのは、光、緑、水の **3** 要素をどう見せるかが重要。
- ・その地域、歴史、気候などを踏まえて、その時点の考え方をいれ作り込む必要がある。